



2021年10月号

ウトナイ湖通信

No.209



ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 発行

トピックス

秋は、渡り鳥で湖が賑やかに

例年、春と秋は、北から南下してきた渡り鳥がウトナイ湖に立ち寄る季節です。今年はガン類の仲間のヒシクイの到着を、9月7日に当センターのボランティアさんが確認。その5日後、9月11日に「マガン」の到着をレンジャーが確認しました。他にも、ヒドリガモやコガモなどのカモ類も見られています。また、コハクチョウやオオハクチョウは、例年10月上旬～中旬に到着が確認されています。到着を楽しみに待ちましょう！



ヒシクイ

全長約 78～100cm
ウトナイ湖では、亜種ヒシクイ、亜種オオヒシクイともに見られる。ガハハんと太い声で鳴く。



マガン

全長約 72cm
10月に入ると例年数千羽ほど見られる。キャハハんと高い、小型犬の様な声で鳴く。



秋は日中もウトナイ湖でガン類の群れが見られる

ラムサール条約湿地に登録されて30周年のウトナイ湖

ウトナイ湖は平均水深が約60cmと浅く、水草や水生生物が多く見られる淡水湖です。水草を好むガン類やハクチョウ類、魚などを好むサギ類、カイツブリ類と様々な野鳥が集まります。

ウトナイ湖がラムサール条約（水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）の湿地に登録されて今年で30周年を迎えました。渡り鳥が長旅の途中に一息つける中継地として、またここで暮らす生きものが安心して暮らせる場所として、これからも皆さんと一緒に、この自然を守っていかれたらと思います。



水鳥で賑わうウトナイ湖

【自然観察路情報】 観察された生きもの

2021年9月19日（日）10：00～12：00



メジロ



チュウヒ

コゲラ



- 《野鳥》ハクセキレイ、ウグイス、ベニマシコ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、コゲラ
 メジロ、ヒヨドリ、アオジ、チュウヒ、オジロワシ、アオサギ、ダイサギ、ヒシクイ
 コブハクチョウ、オオハクチョウ（渡らず1年中この周辺で暮らしている個体）
 《植物》【花】ユウゼンギク、アキノウナギツカミ、ミゾソバ、ノコギリソウ、エゾリンドウ
 アキノキリンソウ 【実】マムシグサ、ツリフネソウ、クサレダマ、ヤブマメ、コナラ、マユ
 ミ、ノブドウ、ツルウメモドキ、チョウセンゴミシ、ツリバナ、カンボク、カラコギカエデ
 フッキソウ 【若い実】キタコブシ
 《その他》エゾリス、ハンノキハムシ、ミドリヒョウモン、アキアカネ、ノシメトンボ

【水鳥カウント調査結果】

2021年9月16日（木）15：00～16：00

観察された水鳥、ワシ・タカ類

*（）内は個体数、（+）は以上、（±）は「前後」の意味

ヒシクイ（56羽±）、マガン（8羽）、コブハクチョウ（4羽）

キンクロハジロ

カワセミ

オオハクチョウ（3羽・傷病個体）、ヒドリガモ（35羽）



マガモ（16羽）、オナガガモ（1羽）、コガモ（115羽）、キンクロハジロ（3羽）

カイツブリ（4羽）、カンムリカイツブリ（22羽）、アオサギ（8羽）、ダイサギ（3羽）

チュウサギ（4羽）、アオアシシギ（2羽）、オジロワシ（1羽）、カワセミ（1羽）

10月の自然予報

秋の渡りでハクチョウ類が到着するでしょう

ウトナイ湖やその周辺では、生きもの（動植物、昆虫、魚類等）の採取はできません。

秋は例年10月に飛来が確認されるハクチョウ類。昨年はコハクチョウが10月7日、オオハクチョウが10月11日に飛来が確認されました。今年はいつ飛来するでしょうか？



オオハクチョウ

全長約140cm

クチバシの黄色い部分が多い。「コオー！コオー！」と、ラッパを吹いたような響く大きい声で鳴く。



コハクチョウ

全長約120cm

クチバシの黄色い部分が少なめ。「コホッ、コホッ」と、短めに鳴く。

様々な植物の実が見られるでしょう

マユミ（ニシキギ科）

ピンク色の外皮、赤い実
 外皮が割れると赤い実が見られる。
 メジロなどの野鳥に人気。



ノブドウ（ノブドウ科）

ピンク、青、紫等様々な色の実
 多色にわたる色の実になる。
 中に寄生虫がいることがある。



チョウセンゴミシ（マツブサ科）

赤い実
 房状に実がつくのが特徴。
 ヒヨドリなどの野鳥に人気。



【ハジロカイツブリ】

全長約 31cm。

全国に冬鳥としてみられる。ウトナイ湖では9月～11月頃に観察されることがある。赤い目が印象的。冬羽の色は白と黒。クチバシが上にそりあがるように見える。夏鳥で見られるカイツブリより大きい。



*ウトナイ湖に関するクイズ

毎回、その月にあわせたテーマで出題しています。あなたもウトナイ博士になれる?かも。

Q.夏にウトナイ湖周辺で見られた水色や緑色のイトトンボの仲間の多くは、ヤゴ(幼虫)で越冬しますが、茶色いこのイトトンボは成虫で越冬します。さて、このイトトンボの名前は?



(あ) シバレトンボ

(い) オツネトンボ

(う) エットウトンボ

答えは最後のページです。

傷病鳥獣ルームから



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をみなさまに知っていただくコーナーとして、ここでご紹介いたします。

チゴハヤブサ

原因：衝突疑い

体重 195g



初診時の様子



リハビリケージでの様子

8月13日 11:30頃、保護センターへ搬入。この2日前に飛べずにいたところを発見されていたが、飛翔する気配もなく、ケガの疑いがあったことから、保護される。ただちに検査を実施。レントゲン検査上では明らかな骨格異常は認められなかったが、打撲の疑いもあり、安静措置とし、経過観察。

8月14日 容体は安定し自発採餌も行うようになる。

8月17日 保護5日目、飛翔リハビリのために屋外リハビリケージへ移動。

8月28日 順調に飛翔能力を増し、保護16日目、リリースに至る。

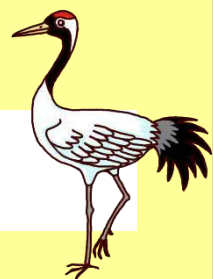
チゴハヤブサ (ハヤブサ目 ハヤブサ科)

農耕地など開けた環境を好み、都市近郊の住宅地付近でも多くが繁殖する身近なハヤブサ類です。自分で巣を作るのではなく、カラスの古巣を利用し、子育てを行います。昆虫(トンボやセミ)や小鳥、コウモリ類などを捕食します。

【野生動物に学ぶ救護セミナー ～タンチョウのお話～】

10月30日(土) 10:30～12:00

講師： 小山内 恵子 氏 (ネイチャー研究会 in むかわ)
若松 徹 氏 (環境省北海道地方環境事務所)



対象：どなたでも (小学生以下は保護者同伴) 定員：30名 (先着順)
申し込み：10月1日(金)9時～29日(金)17時まで電話でセンター【0144-58-2231】へ
※月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)は休館日となります。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言などで、中止となる可能性があります。

ウトナイ湖・渡り鳥フェスティバル 10月16日(土)・17日(日)

ウトナイ湖に多くの渡り鳥が見られる時期に合わせて開催します。渡り鳥のこと、ラムサール湿地のことなどなど、皆さまに楽しく知っていただくためのイベントです。



①【秋の渡り鳥ウォッチング】 渡ってきたガン類、ハクチョウ類などの観察会です。
16日・17日 各日ともに 13時30分～14時30分
定員 各回10名(事前予約制) 申込10/1～10/13までに、電話で当センターへ



②【道内ラムサール湿地渡り鳥ニュース!】
道内ラムサール湿地6カ所より中継で渡り鳥の状況や今の見どころをお伝えします!
10月16日(土)10時～11時30分
定員 館内観覧30名(先着)
オンライン観覧500名(先着)

③【セミナー 苫小牧発! オオジシギの渡りとチュウヒの繁殖～勇払原野と共に】
衛星追跡送信機をつけたオオジシギの動向や、勇払原野のチュウヒの繁殖のお話です。
10月17日(日)10時～11時30分
定員 館内観覧30名(先着)
オンライン観覧500名(先着)

④【セルフで楽しむ・渡り鳥クイズ】
16日・17日 各日とも
10時～16時(答え合わせは17時まで)
定員・申込なし 直接当センターへ

⑤【渡って見たらわかるかも、渡り鳥診断】
16日・17日 各日とも 10時～16時
定員・申込なし 直接当センターへ

②と③につきまして館内観覧をご希望の方は直接当センターへ
オンライン観覧をご希望の方は当センターホームページをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で、一部プログラムは中止となる可能性があります。

◆ウトナイ湖◆

周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。

鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。このためウトナイ湖は、国指定鳥獣保護区特別保護地区、ラムサール条約湿地、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに指定、登録されています。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

環境省が「野生鳥獣との共生環境整備事業」により建設し、苫小牧市と共同管理する施設です。
また、苫小牧市が業務の一部を(公財)日本野鳥の会に委託しています。



【利用案内】

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 TEL. 0144-58-2231 / FAX. 0144-51-8600

入館無料 / 開館時間：午前9時～午後5時 / 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始